



2012.8.16-8.23

第3回台南市青少年訪問団

報 告 書

主催：財団法人 仙台国際交流協会



目次

ごあいさつ	1
実施概要	2
団員名簿	3
行程表	4
訪問場所地図	5
活動レポート	7
仙台PRブースについて	22
班紹介	24
フォトスナップ	27
ツアーを終えて	32
台南サポーターからのメッセージ	42
日本人サポーターからのメッセージ	46
随行者より	47
編集後記	48



ごあいさつ

第3回となる台南市青少年訪問団は、大学生等30名及び同行職員2名が参加し、2012年8月に実施されました。

2月に実施した第1回訪問団の11日間に比べ、全行程は8日間とやや短くなりましたが、今回も極めて充実したツアーとなりました。

マングローブのトンネルの船下り、夏でも涼しい阿里山の先住民の村の訪問など、季節の違いを考慮し、工夫を凝らした行程を組んで頂いた奇美グループのご担当の方々に感謝申し上げます。

行程のうちの半日、台南の目抜き通りで行われたイベントに仙台市や仙台市からの市民訪問団の方々などと一緒に参加し、ステージでの歌の披露やブースでの浴衣体験など、直接、台南市民の方々に感謝の言葉を伝え、触れあう機会を持てたことも、とても良かったと思っています。

ツアーには、今回も、現地で日本語を学ぶ大学生などが全日程同行し、仙台と台南の若者たちは、最後の交流会で涙を浮かべながら別れを惜しむ、濃密な日々を過ごすことができました。

今回、第1回の参加者の中から2名の大学生がサポーターという形で、再びツアーに参加しましたが、仙台と台南の学生が早く打ち解けられるよう配慮するなど大きな役割を果たしてくれました。また、サポーターを訪ねて第1回のときの台湾人学生ボランティアが訪問してくるなど、回を超えたツアー参加者をつなぐ役割も果たしていました。

この11月に、仙台で、第1回から3回までの訪問団参加者が集まり、合同の交流会を行いました。交流会には、ワーキングホリディで来日中の台湾の大学生や現地でお世話いただいた台南に住む日本人留学生なども参加し、大盛況でした。仙台と台南の若者たちの交流は、帰国後も様々な形で活発に続いており、その輪は着実に広がっていると感じています。

最後に、今回のツアーの実施にあたりご尽力いただいた財団法人樹谷文化基金会、奇美グループや台南市政府の方々、現地でお世話いただいた学生ボランティアの皆さん、温かく迎えてくれた台南市民の方々、その他、多くの方に心から感謝申し上げます。併せて、長年にわたる民間交流等により仙台と台南の交流の礎を築いてきた仙・台友好交流促進協会及び仙台市役所の方々に深く感謝申し上げます。

平成24年12月

財団法人仙台国際交流協会

台南市青少年訪問団について

仙台市と友好交流促進協定を結ぶ台湾の台南市では、東日本大震災の直後から、「送愛到仙台（仙台に愛を送ろう）」の名のもとに活発な募金活動が行われ、また、台南市に本拠地を置く奇美グループがスポンサーとなり、「復興を担う人づくりこそ経済的支援にも勝る最も確かな支援である」という考えのもと、3年間で約300人の仙台の青少年を台南に招待するプロジェクトが生まれました。

これを受け、仙台国際交流協会では、第1回訪問団派遣を大学生等を対象に平成24年2月に実施し、第2回は高校生を対象に、第3回は大学生等を対象に、それぞれ8月に行いました。

現地では、奇美グループの担当の方のほか、日本語を学ぶ台湾の大学生がツアーに同行するなどし、青少年どうしの活発な交流が生まれています。

実 施 概 要

仙台市と交流促進協定を結ぶ台南市に青少年を派遣し、現地の青少年との交流や台南市内の見学、日本文化の紹介などを通して、異文化理解を深める機会とする。また、震災後にいただいた支援への感謝や、現在の仙台の状況を伝える機会とする。

1. 訪 問 先 台湾 台南市および近郊
2. 実施時期 2012 年 8 月 16 日(木)～8 月 23 日(木) 7 泊 8 日
3. 主 催 財団法人仙台国際交流協会(SIRA)
4. 協 力 仙台市
5. 後 援 仙・台友好交流促進協会
6. 参加人数 青少年 28 名 同行者 2 名
7. 募集対象 仙台市内にお住まいか通学する 18 歳～22 歳の方(大学・専門学生等)(年齢はいずれも平成 24 年 4 月 2 日現在)で下記の条件を全て満たす方
 - 1 学生であること
 - 2 心身ともに健康であること
 - 3 日本国籍を有すること
 - 4 国際交流、異文化理解に関心があり、ツアーの趣旨を理解・賛同し、団体行動に参加可能であること
 - 5 定められた日程・旅行条件で参加できること
 - 6 東日本大震災での経験を踏まえ、台湾の方々に仙台の元気や、感謝の想いを伝えることができること
 - 7 事前・事後研修(全4回程度)に参加できること
 - 8 平成 23 年度に仙台国際交流協会が主催した海外派遣事業に参加していないこと
 - 9 未成年者の場合は、保護者の承諾が得られること
8. 事前研修
 - 第1回目 2012 年 6 月 24 日(日):ツアー概要説明、台湾在住者からのアドバイス
 - 第2回目 2012 年 7 月 15 日(日):仙台PRイベントの準備、仙台市と台南市の関係について(仙台市、仙台友好交流促進協会より)
 - 第3回目 2012 年 8 月 5 日(日):ツアーの最終確認、各グループの進捗状況報告・準備
9. 事後研修
2012 年 9 月 2 日(日):アンケート記入、ツアーの振り返り



○青少年団員名簿

★男子 6 名、女子 22 名

番号	氏名	ふりがな	性別	学校名	学年
1	荒巻 広夢	あらまき ひろむ	男	東北大学	3 年
2	有馬 碧	ありま みどり	女	東北学院大学	3 年
3	石岡 慶子	いしおか けいこ	女	東北学院大学	4 年
4	一條 紗綾	いちじょう さあや	女	東北学院大学	4 年
5	伊東 留	いとう るう	女	仙台医療センター附属仙台看護助産学校	2 年
6	氏家 麻弥	うじいえ まみ	女	東北学院大学	3 年
7	大津 賢哉	おおつ けんや	男	宮城教育大学	1 年
8	小山田 友梨恵	おやまだ ゆりえ	女	東北学院大学	3 年
9	鎌田 聖羅	かまだ せいら	女	宮城大学	3 年
10	亀山 千晃	かめやま ちあき	女	東北学院大学	3 年
11	菅野 那美	かんの なみ	女	東北学院大学	3 年
12	菊池 麻子	きくち あさこ	女	仙台白百合女子大学	4 年
13	菊池 さおり	きくち さおり	女	宮城学院女子大学	4 年
14	菊地 敏実	きくち としみ	女	仙台白百合女子大学	3 年
15	工藤 響	くどう ひびき	女	宮城学院女子大学	4 年
16	坂本 美玖	さかもと みく	女	東北学院大学	3 年
17	作間 温子	さくま あつこ	女	宮城学院女子大学	2 年
18	佐藤 京佳	さとう きょうか	女	東北学院大学	3 年
19	佐藤 美沙妃	さとう みさき	女	東北学院大学	4 年
20	佐藤 裕也	さとう ゆうや	男	宮城大学	4 年
21	庄司 茜	しょうじ あかね	女	東北学院大学	3 年
22	菅野 万寿美	すげの ますみ	女	東北大学	2 年
23	関 美菜子	せき みなこ	女	東北大学	4 年
24	高橋 建人	たかはし けんと	男	東北学院大学	2 年
25	高橋 良	たかはし りょう	男	国立仙台高等専門学校	4 年
26	西澤 良香	にしざわ よしか	女	東北学院大学	4 年
27	速水 邦晃	はやみ くにあき	男	東北大学	2 年
28	矢吹 有唯	やぶき ゆい	女	東北大学	2 年

○サポーター

1	佐藤 紘	さとう ひろ	女	宮城教育大学大学院	1 年
2	山口 純枝	やまぐち あやえ	女	東北学院大学	3 年

○同行職員

1	佐藤 剛	さとう たけし	男	(財)仙台国際交流協会 企画事業課長
2	赤坂 恵利加	あかさか えりか	女	(財)仙台国際交流協会 企画事業課企画係

第3回 台南市青少年訪問団行程表

日次	日にち	都市	移動手段	時間	行程	食事	宿泊先					
1	8/16(木)	仙台	仙台空港	13:30	1F 団体待合室集合	機内						
		仙台-台北	飛行機 BR117	16:15発 - 18:55着	仙台空港⇒台北桃園空港							
		台北-台南	台湾新幹線	21:21発 - 22:43着	桃園駅⇒台南駅							
		樹谷園	専用バス	23:50頃	台南駅⇒樹谷会館							
2	8/17(金)	台南市	専用バス	8:00-8:30	朝食(樹谷会館)	○						
				8:30-10:00	学生同士の交流&樹谷の案内	×						
				10:00-10:30	移動							
				10:30-12:00	古跡-安平古堡							
				12:00-13:00	昼食 安平老街(台湾式屋台)			○				
				13:00-13:30	移動							
				13:30-15:20	古跡-赤崁樓+武廟(お寺の儀式)							
				15:20-15:30	移動							
				15:30-17:30	成功大学キャンパス巡り							
				17:30-17:40	移動							
				17:40-18:40	夕食(ショウロンポー)							
				18:40-19:40	移動							
				19:40-22:00	台日交流パーティー							
3	8/18(土)	台南市	専用バス	7:00-7:30	朝食(樹谷会館)	○						
				7:30-8:00	移動	○						
				8:00-10:00	古跡-孔子廟+日本式の建物							
				10:00-12:30	台湾の茶道(奉茶-愛國婦人館にて)							
				12:30-13:30	昼食(台南グルメ)			×				
				13:30-14:00	移動							
				14:00-14:50	海安路 散策							
				14:50-19:00	仙台市訪問団との活動							
				19:00-19:10	移動							
				19:10-22:00	台南市内巡り+夕食							
				22:00-23:00	移動							
				4	8/19(日)	台南市			専用バス	7:30-8:00	朝食(樹谷会館)	○
								8:00-9:00		移動	○	
9:00-10:00	米食DIY(粽を作る)											
10:00-12:00	農村生活を体験する+菁寮老店巡り											
12:00-13:00	昼食(自分で作った粽を味わう)	×										
13:00-14:00	移動											
14:00-16:00	烏山頭ダム											
16:00-17:00	移動											
17:00-18:00	台江緑トンネル巡り											
18:00-18:30	移動											
18:30-21:30	花園夜市+夕食											
21:30-22:30	移動											
5	8/20(月)	台南市	専用バス				8:00-8:30	朝食(樹谷会館)		○		
		嘉義市		8:30-12:00	移動	○						
				12:00-13:30	昼食(奮起湖駅弁)	○						
				13:30-18:00	嘉義部落 先住民生活体験	○						
				18:00-19:30	夕食(先住民のオリジナル料理)							
6	8/21(火)	嘉義市	専用バス	19:30-21:30	先住民パーティー	○	先住民の村					
		台南市		8:00-9:00	朝食	○						
				9:00-11:30	先住民生活体験	○						
				11:30-13:00	昼食(先住民オリジナル料理)	○						
				13:00-18:00	移動	○						
7	8/22(水)	台南市	専用バス	18:00-19:30	夕食(樹谷会館)	○						
				19:30-21:00	活動の感想交流・感謝カードを作る							
				7:30-7:40	移動	○						
				7:40-10:00	大洲地区-朝食DIY+生態地区の建設							
				10:00-10:30	移動							
				10:30-12:00	奇美博物館							
				12:00-13:00	昼食(社員食堂)	○						
		13:00-14:30	移動、交流会準備									
		14:30-17:00	お別れ交流会									
		台北市	台湾新幹線 専用バス	17:00-19:00	夕食(樹谷会館)	○						
20:49-22:14	移動											
	台南駅→桃園駅 ホテルへ											
8	8/23(木)	台北市	専用バス		朝食	○						
		台北→仙台	飛行機 BR118	10:05-14:15	移動	機内						
					桃園空港→仙台空港							
		仙台	各自	15:15頃	解散							



台南市青少年訪問団 報告書

活動レポート



活動レポート

6月24日の第1回事前研修から、台南訪問、9月2日の事後研修に至るまでの約2か月半を参加者それぞれが振り返りました。この2か月半、どんなことがあったのか、一人一人はどんなことを感じてきたのか。どうぞごゆっくりご覧ください。

事前研修①

6月24日に第1回目の事前研修が行われました。皆初対面ということもあり、ぎこちない雰囲気での研修がスタートしました。このぎこちない雰囲気を変えるためにまず始めにアイスブレーキングが行われました。出身地や学年ごとに分かれて話したりすることで、少しずつ全員と打ち解けることができました。そして1人1人個性豊かな自己紹介で和やかな雰囲気になることができました。

研修の最後に、台南に在住している阿部光さんから台湾を訪れるにあたってのアドバイスもして頂きました。アドバイスを頂いたことにより、ますます台湾に行くんだという実感がわきました。研修が3時間と短い時間のなかで、とても内容の濃い時間を過ごすことができました。(菊池さおり)

事前研修②

事前研修の第2回目では、ツアーについていよいよ具体的な話が始まりました。PRイベントで何をするか話し合い、イベントごとのグループメンバー決めを行いました。ユニークな意見が飛び交い、実現が楽しみな意見ばかりでした。後半は、仙台と台南の関係についてお話頂き、仙台に留学中の台南学生からは台南の生活について、教えてもらいました。さらに中国語ワンポイントレッスンではみんなで一緒に声を出して学び、台南への夢を膨らませました。最後に、台南に巨大なダムを建設した日本人の八田與一氏の伝記映画を鑑賞しました。この研修では、内容が前回に増して一層具体的な内容となり、チームワークや責任感を感じずにはいられない会となりました。(亀山千晃)

事前研修③

三回目となる事前研修では、東北大学の沼崎一郎教授による「台湾社会の形成と変容」という講義をお聞きしました。沼崎先生は、台湾がまだ戒厳令下にあった1986年から89年まで台湾にいらしたとのこと。台湾の地理や、オランダや鄭成功、清朝、そして日本の台湾統治、それ以降の時代の歴史についてわかりやすく説明をいただきました。様々



な勢力による支配、日本による同化政策の内容、敗戦後の日本と台湾の関係など、知っているようで知らなかった台湾について確認することのできた、とても有意義な時間だったと思います。講義のあとは、それぞれの担当者からの最終確認。出発を2週間後に控え、気持ちを新たにしました研修でした。(関美菜子)

【8月16日】

出発から到着まで

遂に出発の日。仙台駅から空港までの電車が限られているので、ほとんどの人が同じ電車に乗っていましたが、まだみんな事前研修で3回ほど顔を合わせただけだったので、恥ずかしさからか目が合ってもお互い気付かないフリ、なんていう人もいたと思います。この時はまさか1週間であんなにもみんな仲良くなれるなんて思ってもいませんでした！空港で出発前に結団式が行われ、そこで皆の“台南市にお礼を伝えたい”、“仙台の元気な姿を見せたい”という気持ちを再確認しました！

予定通りのフライトで台北に着き、電車とバスを使いお世話になる樹谷会館へ。長距離移動で皆疲れていたのかすぐに就寝。翌日の朝食には早速驚きました！朝から餃子！？面喰らいながらも皆美味しく頂き、さあ、これからがとても濃密な1週間です！（荒巻広夢）



【8月17日】

学生同士の交流&樹谷の案内

樹谷会館での初めての朝に行われたのは、各班に1枚その班のサポーターを当てるためのヒントが配られ、1列に並んだ台湾サポーターの中から自分の班のサポーターを見つけ出すというゲーム。ここから一気に仙台の学生と台南の学生の距離が縮まったように思います。班ごとの交流の後は、奇美の副理事長であり今回の企画の大本となった林さんと、葉

藁藁先生に、仙台からのTシャツとお土産をプレゼント。そして日本の学生から仙台〇×クイズをして、張さんから奇美グループや樹谷園区についての説明をしていただきました。

朝から盛りだくさんでしたが、台湾サポーターとたくさんコミュニケーションをとれた思い出深い交流会となりました！（有馬碧）



古跡・安平古堡

1624年に建設された台湾で最も古い城堡で、建城以来、オランダ統治時代にはオランダ東インド会社による台湾統治の中心地として、また鄭氏政権時代には3代にわたる王城として使用されていました。現在は海に面していた当時の状況を再現し、復元された砲台が周囲に向けられています。博物館内には、建設当時の城の様子を伝える模型や、多くの資料、各時代の武具などが展示されていました。城館隣の洋館では、台南・安平地区、台湾



始まりの歴史について中・英・日3カ国語表記で事細かに説明されていました。日本語表記があることに驚きました。また、オランダ統治時代のセーランディア城の模型は、ボタンを押すとその場所が光るなど工夫されており楽しかったです。（石岡慶子）

昼食 安平老街（台南式屋台）

私たちが食べたのは肉団子のスープ、肉乾飯（肉チャーハン）、綜合煎（牡蠣と海老巻きの盛り合わせ）、蝦仁蛋炒飯（えびの炒飯）です。台湾の味付けは甘い、とか辛い、とか、また日本人にはあまり親しみのない八角（香辛料の一つ）がよく使われると聞いていました。そのため果たして自分の口に合うだろうかと疑問を持ちながら食事をしたのですが、



今回私たちが食べたこれらはとても食べやすく、日本人がよく口にする中華料理に近いと感じました。昼食以外にも沢山食べ、八角を使った台湾ならではの食べ物を試したりと、日本と台湾での食の文化の違いをみんなで楽しむことが出来ました。(一條紗綾)

古跡・赤崁樓+武廟

赤崁樓はオランダ人によって建てられた300年の歴史を持つ古城で、歴代の変遷の結果、今日の姿となる。日本のお城に比べると大きさは小さいが、城内は周辺の町並みが一望でき、台南の歴史的観光名所であった。武廟では、初めて台湾式お参りの仕方を学んだ。お線香の数、参拝する順番、紙でできたお札など日本では目にしないものを使用していて感銘を受けた。また、縁結びの神様の参拝の仕方も、日本に比べて細かく自分の事を神様に伝え、占ってもらう点でも異文化の違いを感じることができた。もう既に出会っている人も出会っていない人も皆、幸せになれるように。(伊東留)



成功大学キャンパスめぐり



午後から台湾の名門大である成功大学のキャンパスめぐりをしました。キャンパスの敷地面積が広く、キャンパス関係者の方の案内無しでは、迷子になりそうでした。大学内には、設備に富んだ研究室や図書館がありました。また校内の資料館で大学の歴史を学ぶことができました。

大学施設の見学終了後、ガジュマルの木を見に行きました。この大きなガジュマルの木は、

大正12年に昭和天皇が植樹をしたもので、成功大学の名物の1つになっています。ガジュマルの木から日本と台南との繋がりを感じることができました。最後にガジュマルの木の
下で集合写真を撮りました。(氏家麻弥)

台日交流パーティー

8月17日金曜日の夜に樹谷会館の地下一階で台湾のサポーターの方と日本人学生の交流を深める一環として「台日交流パーティー」が行われました。台湾の方と日本人学生の両方で企画されてゲーム等が行われて大いに盛り上がりしました。

私はこの会がすごく大切な会であったことを後々まで痛感しました。なぜならこの会がこの台南市青少年訪問団としてこの企画が成功



した土台になったと私は思っているからです。出会って一日でお互いに何も分からない状況でこの会で一緒にゲームをしたりすることでお互いのことを知るきっかけになったり交流を深めることができこの後のプログラムを互いに協力し合いながらスムーズに行える要因を生み出したからです。(大津賢哉)

【8月18日】

古跡・孔子廟+日本式の建物

孔子廟とは、中国の春秋時代の頃に生まれた儒教の創始者である孔子を祀っている建物のことです。台湾ではおめでたい色が赤であるとのことで、この孔子廟はすべて綺麗な赤色の建物でした。建物の中には、学問の神様のような感じで孔子が祀られており、その他左右には孔子の弟子である孟子など、たくさんの弟子達の碑も祀られていました。私は授



業で習ったとおり、実際に台湾でも儒教やその創始者である孔子を重んじていることを知り、感動したのを覚えています。孔子は学問の成功を導くと言われ、祭壇には受験票や学生の名前や住所などが置かれていたことは一番の驚きでした。建物は台湾の中ではとても古いものらしいのですが、赤色の壁と装飾がとても綺麗でまた来たいと思った場所でした。(小山田友梨恵)

【8月18日】

台湾の茶道



愛國婦人館にて、台湾のお茶をいただきました！一杯目は蟻山921地震の影響により売ることのできなくなった茶葉を使ったウーロン茶、二杯目は復興に向けて作られた紅茶でした。私たちも東日本大震災という大きな地震を体験してきたので、このお茶に込められた思いを感じることができたのではないのでしょうか。この二つのお茶はどちらも美味しく、

特に一杯目のウーロン茶にはミドリムシが入っているということに驚きましたがミドリムシを入れることによってとても甘みが出て深い味わいでした。また、イケメン茶師さんに夢中になっている人もちらほら…(笑)暑さを忘れてお茶と一緒に美味しい茶菓子をいただきながらの台湾のお茶会はとても和やかな雰囲気でした！（鎌田聖羅）

8月18日の夕食

当初、夜の予定は、「台南市内巡り＋夕食」でした。しかし、突然の大雨により、市内観光は中止になり、急遽樹谷会館に戻って、“みんなで夜ごはん”という形になりました。

この日に食べた夜ごはんが、日本というカップ麺のようなものです。スープと麺が分かれていて、麺はソフト麺でモチモチしているのが特徴的でした。味は比較的に日本のカップ麺と似ているため、とても食べやす



かったと思いますし、美味しかったです。もともとは「台南市内での夜ごはん」だったので、何を食べようかな？と楽しみにしていた部分もありましたが、1つの場所に皆で集まって食べるのも、やっぱり楽しくて良いなと思いました！（菅野那美）

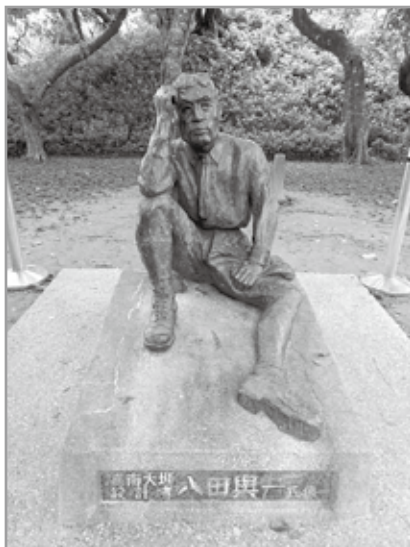
仙台市訪問団とのPRイベント

当日、前半は動き方が分からない為戸惑い全体が上手く回っていませんでしたが、多くの方々に支えられ気持ちのいい晴れの日の中 PR することが出来ました。台南市の皆様には七夕キットを作り短冊に願いを書いたり、浴衣を着て仙台風の夏を満喫して頂きました。台南市と仙台の姉妹都市を結ぶきっかけとなった『七夕』を一味違った角度から楽しんで頂けたのではないのでしょうか。またステージ発表では、事前に準備していた感謝メッセージや嵐の「感謝カンゲキ雨嵐」を中国語で歌い、すずめ踊りの前座として場を盛り上げました。後半からは「台湾らしい」豪雨に見舞われてしまいましたが、一つのテントの下で共に過ごせた楽しい時間だったと感じています。(菊池麻子)



【8月19日】

烏山頭ダム



烏山頭ダムは、事前研修でも勉強していた八田與一の作った台湾の人からするととても大切なものでした。左右に広がる大きいダムの坂を登っていくとそこには八田與一の銅像があり、その銅像も台湾が中華民国から金属回収や日本建築物破壊の際も台湾人がその銅像を隠し守ったと聞き、台湾の方々にとって八田與一の存在がどれ程大きいものだったかという事が分かりました。その後は八田與一が実際に住んでいた家の再現があって当時のことがより身近に感じる事ができ、八田與一はもっと日本でも知名度があるべき人物だと思いました。最後はみんなで記念に絵馬に願い事を書いて帰りましたが、みんなそれぞれ個性的な願い事で面白かったです！（菊地敏実）

農村体験・ちまき作り体験

私たちは、台湾の米作り体験をすることが出来ました。ここでは、農薬を使わない有機農業を行っており、私たちも実際にもみ殻を肥料として撒く作業を体験しました。足袋を履いて水田に入り、第二回目の高校生訪問団が植えた苗の上の肥料を撒きました。その後は、実際に有機栽培で収穫できた米を使い、ちまき作りを体験しました。葉で皮を作り、その中に具材と米を作りました。



日本の農業は、今はほとんど農薬が使われており、このような方法の農業は、とても貴重な体験でした。手間と時間がかかるだけおいしいお米が出来るのだと思いました。お昼にみんなで食べたちまきはとても美味しく、食材を作る所から私たちの口に入るまでの工程を実際に体験でき、食の有難さを感じることが出来ました。（作間温子）

台江緑トンネル巡り

ここは、台湾で最も古いマングローブの所有地区です。マングローブは根が地下に伸び、川岸の保護や防潮、土壌保護などの働きをしています。また、マングローブは植物名ではなく、熱帯や亜熱帯の河口付近に生育し、海水に浸かった森林植生のことをいい、1年に1cmしか成長しないそうです。みんなでかぶりものをかぶって船にのって緑のトンネルをめぐりました。そこには、水鳥や蟹などの生き物がたくさんいました。それは、マングローブの葉などを蟹が食べ、それを魚類や鳥類が餌にするという食物連鎖を表しているということを知り、マングローブは、生態系の重要な役割をしているということを学びました。また、木漏れ日が川面に反射してとてもきれいで、マイナスイオンたっぷりなとても素敵な場所でした。（坂本美玖）



海

海に行くと聞いたとき、私たち宮城県の学生には色んな思いがよぎったと思います。私は海に行くとき少しだけ怖い気持ちがありました。なぜならいつも見ている宮城の海は、すぐそばに瓦礫があり、まだまだ津波の爪痕が残っているからです。でも、いざ綺麗な海を目の前にすると、子供のように大興奮し、皆と一緒に海まで走り、水の掛け合いっこをしたりしました。久々に砂浜を踏む感じ、そして波に触れ海の気持ちよさを感じることができ、本当に最高でした。この体験を通して、海の良さを改めて再認識できました。今はまだ宮城の海に行って泳ぐことはできませんが、いつか第3回台南メンバー（台南サポーターも！）で宮城の海に行けたらいいなと思いました。（庄司茜）



花園夜市

台南滞在から4日目、夜の夜には、400以上の屋台がひしめく「花園夜市」に行きました。花園夜市は、グルメ・ゲーム・装飾品の3つのスペースに分かれており老若男女楽しめるスポットとなっています。

私たちの班では、それぞれに屋台で好きなものを買ってシェアをしながら、臭豆腐やプリプリの海老水餃子、鴨の血を固めたスープ、サツマイモのデザート、タピオカミルクティーをお腹いっぱい食べました。臭豆腐は好き嫌いがグループの中でははっきりしましたが私は大好きです!!3時間の自由時間では足りないほど、たくさんのお店が立ち並んだ夜市ではあっちへ行ったりこっちへ行ったり、女の子だけだった私達は靴や服、アクセサリーをたくさん購入し大満足でした。（工藤響）



【8月20日】

嘉義部落 先住民生活体験

樹谷会館からバスに乗った私たちはどんどん山奥へ。阿里山の途中で降りて、昼食は名物のおいしい奮起湖弁当を食べました。そこからさらにバスに乗り合計4時間！14部族あるうちの一つ、嘉義部落のツォウ族の村に到着しました。着いたときには雨が強くて、どうなることかと思いましたが天気は徐々に回復！まずは現地のおばあさんのお話を聞きました。日本の教育を受けていたおばあさんは日本語でお話しして下さいました。それから現地の方に案内してもらいながら、村の周辺を散策へ！穏やかで、時間がゆっくり流れているように感じました。その後、皮彫刻のキーホルダー作りを教えていただきました。温かく迎えてくれたツォウ族の皆さんに感謝です！（佐藤京佳）



先住民パーティー

鄒（ツォ）族オリジナルのイノシシ肉などの夕食を終えた後は、お待ちかねのキャンプファイヤー！！まず、大会で賞を取ったというお母さんが透き通った歌声で歓迎してくれました。その後部落の方々と一緒に輪になり、見よう見まねで踊りました。軽快なステップでなかなか難しかったのですが、みんなの笑顔から台湾人日本人関係なく一つになれた気がしてとても素敵な時間でした。部落の方々もお疲れの所、楽しすぎた私たちはしつこいくらいにアンコールをして、何度も踊らせていただきました！次の日も、この時のメロディーが頭から離れませんでした♪そしてキャンプファイヤーを満喫した後、まだまだ元気な私たちは希望者を集めて星を見に出掛けたのでした。（佐藤美沙妃）



【8月21日】

先住民生活体験

先住民生活体験では愛玉子(アイギョクシ)作りと民族衣装の試着をしてきました。この愛玉子はゼリーのようなデザートなのですが、作り方にびっくりしました。まず愛玉の実?からタネを削って袋に詰め、タネのエキスを絞り出すように水に溶かすのです。そしてかき混ぜてしばらく置くと不思議なことに固まり、ゼリーのようなになりました。まるでゼラチンのような不思議なタネでした。



民族衣装の試着では写真の撮影会になっていました。獲った獲物の皮で作る服装が鄒(ツォ)族の特色らしく、男子の服装は狩猟の文化を漂わせる男らしいもので、女子の服装はそれと対照的に色鮮やかなかわいらしいものでした。

写真は美人に囲まれて嬉しそうな邦晃(くに)君です。…うらやましい。(佐藤裕也)

【8月22日】

大洲地区・生態地区建設



この地区は、財団法人樹谷文化基金が大洲地区を循環エネルギー・資源の環境教育基地として建設した場所だそうです。まずこの地区にあるものが、自然の力を利用してつくられていることに驚きました。そして自給自足が出来る仕組みを実際に見てみることで、改めて自然の力は偉大ということを感じました。特に生態トイレを見学したとき、日本の汲み取り式トイレ

と仕組みは全く変わらないのに、自然の力を利用することで匂いが全くなかったことに感動しました。現代は環境問題が課題となっていますが、これからの時代はこのように自然の力を上手に利用していき、自然と共存をしていかなければならないと、改めて考えさせられたところがあると思いました。(庄司茜)

奇美博物館

博物館には奇美グループの会長さんが世界中から集めた絵画、彫刻、剥製などが展示してあります。楽器や鎧、刀なんかも所狭しと並べてありました。化石や隕石も展示してありましたね。私は自動演奏楽器に興奮しました！5～8階のフロアが展示スペースになっているのですが、それでも全部の収蔵品が展示できず、すべての収蔵品のうち三分の一が展示されています。奇美博物館は入館無料で、市民に開放されています。なんと、収蔵品の無料貸し出しも行っております。社食で昼食をいただきました。奇美はパイナップルケーキが有名ということで、皆お土産に買っていましたね！ガイドのセキさん、流暢な日本語で詳しく分かりやすく解説していただきありがとうございました。（菅野万寿美）



お別れ交流会

会うが別れのはじめというがやはり別れはつらいもの、忙しくも充実した一週間を共にすごした台湾の方々ともお別れする日が来た。

交流会の前半はわいわいとゲームをしながら和やかな雰囲気が進んだが、後半にこの一週間をまとめたスライドショウがはじまると、所々からすすり泣く声が聞こえてきた。

ここまで滞りなく日程が進んだのも台湾サポーターのおかげである。私たちはかねてから練習してきた「感謝カンゲキ雨嵐」と、メッセージの書かれたうちわを持ちながら「さくら」を日本語と中国語を交えて歌った。意味が通じたかは疑問だが感謝の気持ちはしっかり伝わった。そして班毎に台湾サポーターへ感謝の言葉と色紙を贈った。

お別れ会が終わると、名残を惜しむ時間も惜しんでお互いに写真を取りまくっていた。

（高橋建人）



【8月23日】

出発から到着まで

お別れ交流会も終わって台南サポーターのみんなと本当のお別れ。バスの前ではみんながお互いにお別れを悲しんでいました。一週間という短いようだけど、とっても充実した時間を過ごせたのは、台南サポーターのみんなのおかげだし、そんなみんなとの別れは思い出ただけでも泣けちゃったり…。バス・新幹線乗り継いで台北のホテルで一泊。みんな最後の夜を思い思いに楽しみました。一夜明け、飛行機に乗って仙台へ。みんな無事に帰国できました。出発する前はこんなに楽しくて充実したツアーになるとは思ってなかったけど、私達をサポートしてくれた多くの方々のおかげで一生の思い出となるものになりました。仙台に帰ってきたけど、台南のみんなへの思いはずっと忘れません！

(高橋良)



学生ボランティアの皆さんについて

台南に滞在している間ずっと私達のサポートをして下さった学生ボランティアの皆さんを紹介したいと思います！まず1班のいつも明るくて盛り上げ上手のあくびちゃん☆愛のイメチェン大成功♡2班よっしー☆ いつもかわいい格好で Pretty なものが大好きな3班まいまい☆ 優しくていつもにこにこしている4班よう君☆ 伊達政宗が大好きな5班うしちゃん☆ 明るくて、ぴよんぴよん跳ねてるかわいい6班諒ちゃん☆ ガハハハハ！って笑うクッキーモンスター似7班いし☆ いけめん日本人でリーダー的存在俊さん☆ 写真撮る時キメ顔だけど皆のお兄ちゃん的存在ふっくん☆ 皆とても優しくて面白くて素敵

な方でした。感謝の気持ちでいっぱいです。大好きー！！我们愛你们！（西澤良香）



滞在中の気候について

台湾の気候は、中央に通る北回歸線を境に北が亜熱帯地域、南が熱帯地域である。日本のようなはっきりとした四季はなく、長い夏と短い冬がある。私たちが訪問した 8 月は雨季の時期で台風シーズンでもあり、実際訪問している時も何度か激しいスコールに見舞われた。帰国する頃には台湾に台風も近づいており、帰国できるがヒヤヒヤした。私たちが行った頃は気温も湿度も高く、じめじめとして汗をダラダラとかくような毎日だった。建物の外は熱帯でも、建物内はクーラーがガンガンかかっており、薄手の羽織るものが必要なくらい寒くなっているため、温度調節には苦労したし、これで体調を崩す人もいたくらいだ。（速水邦晃）



事後研修

緊張しながら集まった事前研修とは違って、この日を皆心待ちにしていたようでした！事後研修の内容は、アンケート記入、ツアーに参加しての感想発表などです。感想発表では、今後のツアーへの改善点も出されました。このツアーに参加する意義をしっかりと持つべきだった、感謝の気持ちを台南市民の方にもっと伝えたかったなど、今後につながる良いフィードバックも出来たと思います。嬉しいことに、この台南市訪問はこれからも続きます。全員から今回のツアーに参加出来てよかった、楽しかった。という声を聞くことが出来ました。私たちが出来ることはこれからも継続して協力していき今回のツアーで感じたことを今後のメンバーにも感じてもらいたいと思います。（矢吹有唯）



台南市での仙台PR

今回のツアーでは、台南市で開催された『2012 愛情城市嘉年華』というイベントに仙台市、すずめ踊り団体『朱雀』のみなさんと一緒に参加し、仙台PRを行いました。七夕飾りつくりや、浴衣の試着コーナーなど、仙台・日本ならではのものを台南のみなさんに紹介。イベント後半は、あいにくの大雨でしたが、たくさんの台南市民の方と交流することのできた貴重な時間でした。





班ごとのベストショット&キャッチコピー



1 班 出まして来ましてアクビちゃ〜んっ！



2 班
よっしーの恋♡応援団



3 班 マイマイにメロメロ♡3 班



4 班 罰ゲーム担当☆4 班



5 班 マイペースな牛ちゃん`s\(.・∀・)/



6 班
不思議の国のろっぱーん!!
(o^)/



7 班
偉誌お父さんと
マイペース四姉妹っ!





台南市青少年訪問団 報告書

フォトスナップ



8月16日 ～1日目～



8月17日 ～2日目～



8月18日　～3日目～



8月19日　～4日目～



8月22日 ~7日目~



8月23日 ~最終日~



謝謝♥台南

台南市青少年訪問団 報告書

ツアーを終えて



ツアーを終えて

1週間という短い期間でしたが、とても濃密で充実した時間を過ごすことができ、素晴らしい経験をさせていただきました。ツアーに参加する前は、台南市が多大な支援をしてくださっていたことはニュースや新聞などで知っていましたが、正直なところ台湾についての知識もさほどなく、ただ漠然と感謝を伝えたいという気持でした。しかし現地で台湾のサポーターと共に生活し、台湾の文化や歴史を学び様々な人々と触れ合う機会をいただいたことで、彼らの日本に対する惜しみない愛情を肌で感じ、本当に涙が出るくらい嬉しかったです。また、それを受け仙台の良いところを沢山伝えてもっともっと日本を好きになってほしいと思いました。今回のツアーでは、日本人台湾人ともかけがえのない仲間がたくさん出来たので、これから先何十年も通してさらに台南市との交流を深めていき強い絆で結ばれた関係を築いていきたいと思います。

最後に、このツアーに多大な援助をしていただいた奇美グループの方々、僕達に素晴らしいチャンスを与えてくださった仙台国際交流協会含め仙台市職員の方々、このツアーを支えてくださった全ての方に感謝の気持ちを伝えたいと思います。謝謝、仙台南！

（東北大学3年 荒巻広夢）

台南の素晴らしい古跡や文化、食べ物もかなり魅力的でしたが、私の心に深く残ったのは台南の人々の温かさでした。仙台PRブースに来てくださった市民の方々、先住民の伝統をたくさん教えてくださった鄒族の方々、大変なおもてなしをしてくださった奇美グループの方々、そして私たちのために色んな企画を準備して多くの面で支えてくれたサポーターの皆さん… 本当に素敵な出会いに恵まれました。私は東日本大震災で被災した者の一人として、台湾からの支援のお礼を言いに行ったはずでしたが、今は更に伝えきれないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。また皆さんとお会いできるのを楽しみにしています！このツアーで出会ったすべての人にありがとう！（東北学院大学3年 有馬碧）

今回のツアーが私の初海外でした。環境や言葉、たくさん不安はありましたが一言で言うと、「行ってよかった」です。台南の学生さんたちは本当に心優しく私たちとコミュニケーションをとるために一生懸命に話を聞き、一つ一つに熱心に答えてくれました。日本のこと、仙台のこと、私自身のこと、たくさんのことを熱心に聞いてくれました。私がする素朴な疑問にも丁寧に答えてくれてすごく嬉しかったです。また、私が感じたことは台南



の方々みなさんが温かいことです。道であいさつをすると笑顔で答えてくれ、中には日本語で「こんにちは～日本人？」などと、気さくに話しかけてくれました。こんな温かい方々がたくさんの援助をしてくれたのだと実感し、感動しました。このツアーで感じたたくさんの思い、経験を活かし、もっともっと仙台と台南の交流を深めていきたいと強く思いました。（東北学院大学4年 石岡慶子）

仙台と台南の交流がこんなにも盛んだった、ということが今回のツアーでの一番の驚きです。国際交流に興味がある、と言いながらも、仙台市がどこの国とどんな交流関係を持っているのかを知らなかったことに、今さらながら恥ずかしさを覚えます。一週間、台湾サポーターの方々と過ごし交流を深めることで、お互いに楽しく異文化理解を深めることが出来たと思います。もっとみんなと一緒にいたい、もっと交友関係を深めたい、と強く感じ、日本に帰ってくるのが惜しいと思えるほど充実した一週間をおくることが出来ました。これからは自分が見て感じたこと、知ったことを周りの人に伝え、台南市に関心を持ってもらおうと共に、今回の訪問で知り合ったサポーターの方々との交流をより深めていきたいと思います。（東北学院大学4年 一條紗綾）

私は今回のツアー前まで、他大学の学生と交流する機会がほとんどありませんでしたが、ツアーを通して仙台、台湾の皆さんと楽しく充実した8日間を過ごすことができました。また、台湾では、多くの貴重な体験をし、「思ったら行動する」、「積極的に色々なことを見て感じたことを周りの人に伝えていく」ことの大切さを改めて感じました。また、震災で多くの支援をしてくれた台湾の人々へ自分なりに感謝の気持ちを伝えることができたと感じています。

私はこれから看護学生として本格的に実習に入ります。不安でいっぱいですが、今回のツアーを通して学んだことを生かし、患者さんに対しても同志に対しても真剣に向き合い、自分自身をもっと成長できるように頑張りたいと思います。

（独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター附属仙台看護助産学校2年 伊東留）

今回の台南訪問が私にとって初めての海外生活でした。出発前は、初めての海外に不安でいっぱいでした。しかし、一週間は、あっという間で、とても充実した時間を過ごすことができました。震災後、日本は台南から沢山の支援を受けてきました。今回の台南訪問では、台南の方の優しさを直接感じる事ができました。現地のサポーター、スタッフの皆さん、一週間スケジュールが詰まっていた大変でしたが、常に笑顔で接してくれました。皆さんの協力があったから今回の訪問が成功したのだと思います。

日本に帰った今、大学のサークルで外国人の方に日本語を教えています。私も日本で生活する外国人の方に台南の皆さんのようなサポートができるように努力していきたいと感じました。（東北学院大学3年 氏家麻弥）

私はこのツアーで実際に現地の台湾の方々と接してこのツアーの最大の目的である東日本大震災に関しての感謝の気持ちと仙台の今の実情や仙台に関して台湾の方々に伝えることが出来たと思っています。またこのような機会が台湾に行った日本の学生や現地でサポートしてくれた台湾の学生の双方にとって国際的な文化交流や言語への関心等お互いにとって良い意味で刺激しあえたのではないかとこのツアーを通して感じました。

私はこのツアーで知り合った人たちの交流を大切にしながらも台湾に行って得た知識や体験を活かして仙台ひいては日本や台湾のために役立つような活動をこれからもしていきたいと思いました。（宮城教育大学1年 大津賢哉）

今回の台南ツアーを終えて、私の心は今まで以上に感謝の気持ちでいっぱいになりました。国内外問わず、たくさんの仲間に出会えたことに感謝したいです。台南サポーターさんは一生懸命に日本語を使い、台湾のことを説明してくれて、本当に嬉しかったです。そして仙台の仲間たちは、一人一人しっかりした意見を持つ人ばかりで、みんなの話を聞くことで自分を振り返るよい機会にもなりました。国際交流をする中でグローバルな問題である環境を考える機会もあり、今後自分に何が出来るか、何をすべきかを見つけて行きたいと思いました。この場を提供してくれたすべての方々への感謝を忘れずに積極的に活動していきたいです。（東北学院大学3年 小山田友梨恵）

私にとって初めての台湾でした。今まで興味はありましたが、台湾についての知識が乏しく、中国語もわからないので出発前はとても不安でした。しかし台湾人の暖かさに触れてその悩みは吹っ飛びました。台南の歴史、文化、そして日本に対する愛を身を持って知ることができ、わたしも台南が大好きになりました！これからもこのプログラムで出会った多くの人とつながっていたいと思います。そして台南市との交流会に積極的に参加していきたいと思います。

台南での一週間、忘れられないとっても素敵な体験ができました。また台南に行くぞ！みんな大好きー♡（宮城大学3年 鎌田聖羅）

私にとってこのツアー最大の成果は、今まで会うことのなかった同年代の友人たちと一



緒に過ごし、価値観を共有できたことです。何を一番大事にしているのか、目の目標、将来像まで、台南の学生はもちろん、共通点のなかった仙台の学生とも触れ合えたことが、私にとって大きな刺激となりました。

そもそも今回のツアーに参加した理由は、自分に何ができるのか知りたかったから、というものです。サポーターをはじめとする、台南の皆さんの温かさ、文化、懸命さに触れました。見るもの全てに感動し、世界と自分の関わりを深く見つめなおすことができました。この交流は絶対に絶やすことなく、続いてほしいと思います。

（東北学院大学 3 年 亀山千晃）

今回のツアーでは、本当にたくさんの経験をしました。成功大学のキャンパス内を見学したり、台湾のお茶を飲んだり。時には、花園夜市に行って台湾の屋台を満喫したり、先住民の村へ行ったり…。どれもこれも、観光旅行や日本に居ながらにして経験することができるものではありません。

また、台南市の学生と交流することができた点が非常に良かったです。国境を越えた交流はとても感動的で、かけがえのないものとなりました。

今改めて振り返ってみると、大変貴重な経験をさせていただけたのだと思います。私たちは台湾からたくさんの愛をいただきました。そして、たくさんの出逢いに感謝です。今回のツアーで、台湾がさらに好きになりました！（東北学院大学 3 年 菅野那美）

8 日間、振り返ると一週間経った今でも涙が溢れる素晴らしい日々を台南市で過ごさせて頂きました。今だから言える・・・というのでしょうか。実は、仙台での準備期間中にとっても悩んだ時期がありました。情報の共有がなされていなかったり、負担が少数のメンバーに偏りコミュニケーション不足になったり……。自分がこのツアーに参加する意味が無いように思っていました。しかし台南を訪れ、たくさんの人々に支えられながら活動し、多くの人と出会い、時間を共有し過ごす事で新たに感じ得たことが帰国後の私を支えているのだと思います。これまでよりも人との繋がりを意識して生活出来ているこの瞬間が尊いものに思えることに感謝しています。（仙台白百合女子大学 4 年 菊池麻子）

私は今回、初めて台湾に行きました。台湾に行くということが決まるまでは、台湾の文化や歴史を全く知りませんでした。実際に台湾に行って 1 番印象に残ったことは、親日家の人が多いことでした。台湾には日本のドラマやアニメなどがたくさん放送されていて、日本人の私たちよりも日本について詳しい人が多くて驚きました。台湾の人たちが日本に対して興味を持っているにもかかわらず、私たち日本人は台湾のことを知らなすぎるなど

も思いました。今後は、台湾が日本に対して震災後に、どんな援助をしてくれたのかをいろいろな人に伝えていきたいと思っています。台南の皆さんのおかげで充実した 8 日間を過ごすことができました。ありがとうございました！

（宮城学院女子大学 4 年 菊池さおり）

私は前回も応募してましたが落選してしまい、今回のツアーで行けることに決まった後も皆と仲良くなれるか不安でした。正直、初日の空港の時点でも全員の顔と名前が一致しなかったぐらいです（笑）ですが、台南についてからは現地の大学生サポーターの子たちとコミュニケーションをとりながら自然と仲良くなっていくのが毎日嬉しかったです。私の印象に残っていることは、やっぱり久しぶりの海にいたり、夜市でサポーターの子のためにがんばったわなげ（景品がマイメロディの人形で無事 GET しました★）、個人的に大好きな嵐の歌を中国語で歌ったり・・・そしてなによりたくさんの人と交流できたことが宝物になりました。また機会があれば絶対このメンバーで台南を訪れたいです！謝謝、台南♡

（仙台白百合女子大学 3 年 菊地敏実）

たくさんの出会いがあり、笑顔が溢れた 8 日間は一生忘れることのない素敵な時間になりました。中でも私が忘れられない思い出は 2 つあります。1 つは、サポーターの俊さんのどっきりお誕生日会!! 歌とケーキ、プレゼントでお祝いしました。顔にべったり塗られたクリーム…あの場に居られて本当に良かった。2 つ目は花園夜市からタクシーで樹谷に戻った 40 分間。課長と赤坂さんと 3 人で乗ったタクシーは陽気な運転手の許、迷いに迷って変な所で下されそうになり「日本に帰れないのでは」とも思ったほど…。私は今こうして回想記を書いています（笑）

8 日間の交流を終えて、送愛到仙台を主催して頂いている台南市政府、財団法人樹谷文化基金会に深くお礼申し上げます。（宮城学院女子大学 4 年 工藤響）

一番感じたことは、“出会って素敵！”ということです。台湾の方々は、みなさんとても温かく、いつも私たちのことを気にかけてくれ、たくさんのことを教えてくださいました。街でもたくさんの方が話しかけてくれ、震災の時、たくさんの支援をありがとう！ということを直接伝えることができました。初めて会った台湾サポーター、3 回の事前研修でしか会ったことなかった大学生メンバーと一週間ずっと一緒に過ごして、こんなにも仲良くなれると思いませんでした。一緒に話したり、歌ったり、踊ったり、作ったり、海に入ったり、買い物したり、星を見に行ったり、泣いたり、笑ったり、最高の経験をたくさんさせてもらいました。今では本当に最高の仲間になり、台湾がますます大好きになりました



た。この経験を日本の人々に必ず伝え、台南と仙台がずっと繋がっていけるように活動していきたいです。（東北学院大学3年 坂本美玖）

震災後の台南市からの多大な支援に対して、私は、事前研修時からその支援に対する感謝の気持ちを台南市に伝えたいと思っていました。実際、あちらに行って感じたことは、震災から一年半経っても尚、支援の気持ちがとても強いという事でした。日本に居たのでは、分からないような海外からの支援の気持ちを感じることができ、とても嬉しく、同時に長いスパンで支援してくださる人々に何かしたいという気持ちを強く持ちました。現状で、私たちが出来ることは、互いの協力が必要になった時のために仙台・台南間での交流の促進だと思います。今回の企画で、私たちは、その基礎を築き、素晴らしい台南市の人々と出会うことが出来ました。また、それは最高の仲間たちと一週間の濃く、有意義な時間を過ごすことが出来たからです。今後も仙台・台南間の交流を続けていきたいと思っています。

（宮城学院女子大学2年 作間温子）

台南市青少年訪問団の全日程を終えて、私たちは仙台と台南を結ぶ懸け橋になれたのではないかと思います。8月19日に仙台PRブースを出したとき、多くの台湾の方と接しました。お互い言葉がわからなくて会話は噛み合っていなかったと思いますが、相手が何を言いたいのかを理解することができました。このとき私は、伝えたいという強い思いがあれば言葉は必要ないのだと気が付きました。また、台湾の方がお店や公園で日本語のあいさつをしてくれたとき、歓迎してもらっているようでとてもうれしかったです。今回の縁を大切に、さらに深いものへとしていきたいです。とても充実したツアーでした。サポーター、スタッフの皆さんには本当に感謝です！！（東北学院大学3年 佐藤京佳）

台南で過ごした本当に濃くて、盛りだくさんな8日間。その中で私は仙台市訪問団との活動のステージで、市民の皆さんに私たちの感謝の思いが詰まった中国語のメッセージを直接伝えられて、本当に良かったです。また、安平古堡などの歴史ある建物を見たりおいしい小籠包を食べたりして、台湾の良さをたくさん知ることができました。本当に貴重な経験で、台南が大好きになりました。

台南の人々は元気で、温かくて、太陽の様な人々でした。これからは私も彼らのように元気に、そしてどんなこともまず行動してみようと思いました。交流はここで終わりではなく、きっとここからがスタートです！温かい台南の皆さん、たくさんのお愛をありがとう！出会った全ての人に、心から謝謝！（東北学院大学4年 佐藤美沙妃）

あっという間で、濃くて、楽しくて、心に残るツアーでした。そんな今回のツアーで一番印象に残ったことは台湾の学生、サポーターの事です。とにかく私達のためにたくさんの方の事をしてくれました。寝る間も惜しんで話し合いや準備をしていたことも知っています。また日本へ興味を持って、積極的に勉学に励んでいる彼らを見て、刺激を受けました。そして感謝の気持ちを込めて、私達はなにをすべきなのか。ツアーを終えて、日本の友人等に台南のことを伝えたいと思います。また、今回出会えた人達とはずっと交流を持ち続けていく予定です。今度は自分達が日本のことを教えてあげたりしたい。あと今回はサポーターに頼りっぱなしだったので、もっと勉強してから台南にまた行きたいと思いました。（宮城大学4年 佐藤裕也）

7泊8日のツアーは長いようで、あっという間に終わってしまいました。ツアー振り返って真っ先に出てくる言葉は『本当に楽しかった』です。台湾に行く前は、台湾ってどんなところだろう、現地の学生と仲良くなれるかな、治安は大丈夫かな等と正直、期待よりも不安の方が大きかったです。けれどそんな不安はすぐに吹っ飛びました。本当に台湾の人たちは皆温かくて、私たちに対する愛がいっぱいだったからです。台湾で過ごした貴重な一週間の体験は、一生忘れられない思い出となりました。今回だけの交流ではなく、今後も生涯の友となっていけるように交流を続けたいと思います。日本のメンバー、そして台湾メンバー本当にありがとう！謝謝！（東北学院大学3年 庄司茜）

台南市に着く前までは、本当に台南の方々感謝を伝えられるのか、台南の学生としっかり交流できるのか、不安なことがたくさんありました。しかし、サポーターと合流してそんな不安は一瞬でなくなりました。帰国した今、やさしく親切な台南の方々には震災支援に対してだけでなく感謝の気持ちでいっぱいです。サポーターの中には今後日本に来る学生もいるようなので、今度は私が仙台を案内したいと思います。今回の訪問で感じたことは、出会って素晴らしい！ということです。仙台市と台南市の末永い交流ももちろんですが、私たち学生間の密な付き合いが今後も続くといいと思っています。このプログラムに参加できて本当に良かったです。ありがとうございました。

（東北大学2年 菅野万寿美）

台湾語も中国語も、全くと言っていいほどわからない。そんな私が、台南の人々と交流できたのは、台南でずっと一緒にいてくれた台南サポーターや、ツアーと一緒に盛り上げてくれた参加メンバーのみんなのおかげだ。サポーターの子たちが教えてくれた台湾語で片言ながらの「ありがとう」を伝えた時の、台南のお母さんたちの笑顔。仙台PRイベントで浴衣着付けコーナーに来てくれた台南の人たちの笑顔と浴衣姿。「日本統治時代」とい



う言葉を聞くたびに、少し胸がざわつくこともあった。過去を経て、私たちは今を生きている。今とこれからの仙台と台南、日本を台湾に、少しでもできることがあるように。そう思うことのできた台南訪問だった。(東北大学4年 関美菜子)

私は今回が初めての海外であった。出発までは不安もあったが着いてみると、料理は安く美味しく、歴史のロマンにあふれ、暑いけれどクーラーがばっちり効いている台南がすぐ好きになった。思い返すと普通の旅行ではできない経験が沢山あり、初海外が台南市訪問で本当によかった。台湾サポーターと話していると、日本について恐ろしいくらい勉強していることに驚いた。国際交流にはその国の知識だけでなく、まず自分の国について学ぶ必要があると思った。震災で失ったものも私たちは多くあるが、震災が縁となりできた今回のようなつながりもある。ツアーを通して台湾の方々の温かさに触れて、私たちは本当に沢山の人の支えられているのだなあと思った。(東北学院大学2年 高橋建人)

今回のツアーに参加することが決まった当初、私は台南のことについてはほとんどなにも知りませんでした。ツアー出発までの間に、台南の文化等については調べてはきたものの、正直分からないことだらけで、今回のツアーがどうなるのか、という緊張感とともに台南へ出発しました。しかし、現地では台湾人サポーターのみんなが何から何まで私たちのことをお世話してくれて、そんな緊張感はすぐに吹き飛びました。日本に帰った今でも、みんなのことを思い出すとまた台南に行きたくなくなってしまいます。今回のツアーは私にとって一生の思い出になりました。みんなには本当に感謝しています。今後はその恩返しとして、日本を訪れた外国人の方々が、一生の思い出を作れるよう手助けをしていけたらと思っています。(国立仙台高等専門学校4年 高橋良)

震災直後、台南市民の方々から贈られた多くの支援は、私達仙台市民が前を向いて歩く為の大きな力となりました。私は、その時からずっと抱いていた感謝の気持ち、『謝謝』という言葉で、出会った全ての台南の人々に心を込めて伝えたい。それが今回参加した私の想いでした。向こうでは毎日様々な文化や、人々の暖かさに触れ、どれほど台南の人々が仙台の事を想って下さっていたのかを、改めて強く実感すると共に、心から台南が大好きになっていました。私は、ここで得た経験をこれで終わりにせず、この経験を生かしてこれからの仙台と台南を繋ぐ掛け橋になりたい、送愛到仙台だけではなく送愛到台南を、台南から愛を頂いた私達がぜひ実現していきたいと思いました。

(東北学院大学4年 西澤良香)

今回の研修は自分にとって充実した、実りある一週間だった。親日家な台湾というイメージは行く前からあったが、実際訪問して台南の方々の笑顔や優しさに触れると、こちらをもっと台南のことについて知ろうと思ったし、逆に日本では同じように接したいと思った。さらに、自分たちと同じくらいの学生サポーターたちがすごく日本に興味を持ち、日本語も堪能な姿を見て、本気で中国語を勉強してお互いの文化交流ができたらなと強く感じた。この 8 日間で訪れた古跡やダムなどで学んだことは、これからも台南と仙台が交流し続ける上で自分たちが周りの人達に広めていく必要があるし、仙台に台南の人たちが来たら、こちらもそう思ってもらえるような案内がしたい。最後に、自分は今回の研修で出会った人たちに、大変刺激を受け成長できたと思うし、これからもずっと関係を続けていきたいと切に願ってる。みんな、ありがとう！これからもよろしく！

（東北大学 2 年 速水邦晃）

今回のツアーに参加するまで、日本と台湾にこれほど歴史的に関わりがあったことを知りませんでした。そして歴史的建造物を観たり、日本統治時代を経験した台湾の方からお話を聞いたりすることで、過去の日本人から学ぶこと、今の台湾人から学ぶことがたくさんありました。台南の方からのお話の中に、「私が好きなのは、かつての日本だ。」という言葉がありました。この言葉に私ははっとしたのと同時に、義務感も感じました。今回築けた台湾学生との友情はもちろん、日本人に台湾との関係の素晴らしさを伝えていくことが必要だと強く感じています。私にとっての初海外が、視野を大きく広げてくれました。この台南市訪問団の活動に参加できたことを誇りに思います。全ての出会いに感謝します。

（東北大学 2 年 矢吹有唯）

台南市青少年訪問団 報告書

サポーターからのメッセージ



台南-----♡-----→仙台

台南サポーターの皆さん、
受入の窓口となった奇美グループの担当の方から
メッセージをいただきました！



黄 偉誌 (いし)

絆、繋げ、けしに負け
はしない。天佐日本、日
本加油。

2012.8.22 黄偉誌



許 瑞英 (アクビちゃん)

みんなと出会えて 本当に
良かった！
また機会があれば
仙台とか台湾で
会いましょう！

我愛仙台南✓



廖 偉捷 (まいまい)

仙島の皆さん！こんにちは
台湾のまいまいです。すごく仙台
が大女子で、すうと応援して
ます。



楊 家祈 (かっきー)

仙台 加油!!
希望を持って進んで!!



洪 庭芸 (涼ちゃん)

仙台のみなさん、台湾の涼です。
仙台の学生たちに出会って、
とても嬉しかったです。チャンスがあ
たら、ぜひ仙台に行ってみたいと思
います。
日本加油! 我愛仙台♡

涼 2012.8.23



蔡 淑如 (淑美ちゃん)

みんな、大震災に負けずに、
すごく強く生きていく。
感動しちゃって涙が出そう
になった。

仙台、頑張れ!



黄 薰慧 (牛ちゃん)

仙台 大好きだ!!
頑張、てね!
政宗様が見守、てるから、
きっと大丈夫よ!!



陳 國誌 (フックン)

仙台の皆さんへ
三回目の研修、お疲れです。
もともとは、皆に力をあてる
立場なのに、逆に皆から沢山
力をいただいた。まだ話したい
事が一杯あるのにね、やはり
“今度”という事で。皆ありが



嶋田 俊 (しゅんさん)

最高の誕生日を
最高のみんなと
最高に祝えました。
謝謝大家
我愛你們



徐 香華 (Grace)

かわいいみなさん

本当にいいおもいでに
ました。

絶対わすれません、
ぜひまた台湾に来てください。

Grace 徐香華



張 心瑀 (チョウさん) 仙台の皆、大好き!! 私のこころを忘れないでね。

この一週間本当にありがとう!

こちらこそ、私もいい経験。

いい男、いい虫になった!!

出会えて、よかった!!

ルーキーの私にとって、就職

以来一番楽しい時間でした。

これかもずっと友達でいてね!

...

張心玉

20/2. 8. 23



サポーターの皆さん、台南市の方々、

大変お世話になりました：)

ありがとうございました！

非常謝謝！！

日本人サポーターからのメッセージ

今回のツアーでは、第1回ツアーの参加者から2名の方がサポーターとして同行することになりました。サポーターのお2人に今回の参加者がどれほど助けられたかわかりません。ここでは、そんなお2人からのメッセージを紹介します。

～大好きな台南にもう一度～

佐藤 紘

団員として参加した前回の台南。あれから7か月経った今でも、あの時のメンバーと集まったり、連絡を取り合ったりし、台湾が私にとってもものすごく近い存在へと変わりました。今回は、前回の経験や反省を踏まえて、みんながより充実した訪問ができるようにサポートしたいと思って臨みました。ところが大学生のみんなはしっかりしていて、ひろサポーターは逆に助けられることが多かったです。そんな中でも、サポーターという立場で参加することで、これまで見えなかった台湾サポーターの動き、また一日一日深まっていく人との繋がりを実感することができました。前回の台湾サポーターも駆けつけてくれ、再会することができて幸せでした。サポーターとしてこの第三回メンバーと台南の繋がりを共有できたこと、出会いに感謝しています。送愛到仙台から送愛到台南！♡謝謝♡

山口 純枝

私は1回目の訪問団で台南に行き得たものが2つあります。まず訪問団に参加したのをきっかけに色々な活動に積極的に取り組めるようになりました。そしてもう1つ、ちょくちょく会ったり連絡を取ったりする大切な仲間ができました。そこで私は第3回訪問団の皆さんにもそれぞれの素敵な経験をしてほしいと思い、サポーターに応募しました。実際サポーターをやってみると戸惑いや緊張もありましたが、明るく元気な皆さんのおかげで3回目のメンバーらしい楽しい訪問団になったと思います。紘さんという大好きで頼れるサポーターがいたことも本当に心強かったです。皆にサポートされるサポーターでしたが、私は3回目の訪問団に参加できて、みんなに出会えて、サポーターをやらせてもらえて本当によかったです。みんな大好き！！！これからも続くこの活動、せっかく出会えた私たちみんなが繋がって、私たちだからこそできる活動をこれからもしていきましょう。最後にみんな～謝謝！





随行者より

私は、平成24年2月に開催された第1回訪問団への参加に続き、二度目の訪問団参加でした。

夏の台南は、事前の予想のとおりに、強い日差し、スコールのような雨など、冬に比べ、行動しやすいとは言えませんが、新鮮な季節の果物など、2月のときとは異なった楽しみがありました。

日中は、熱く、のどが渇きがちですが、毎日、スイカ、マンゴーなど様々な果物のジュースを大量に飲み、そのどれも安く、美味しかったことを記憶しています。

夏は、夕方からが快適です。夕陽に染まる安平付近の海辺で波に戯れたこと、先住民ツォー族の村での夜のハイキングで見た天の川やホタルの光などが、とりわけ、印象に残っています。

さらに、印象に残っているのは台湾で出会った人々です。2月のときも農村生活体験でお会いしたおじいちゃん、今回も裸足でバイクに乗って現れ、米作りの話を聞かせてくれました。第1回から関わっていただいている日本人留学生の嶋田俊さんは、今回も抜群のリーダーシップを発揮し、第1回の台湾人学生ボランティアの多くは、多忙な中、社会人になった人は休暇を取るなどし、顔を見せてくれました。

私は、ツアーを通じて台湾の日本の学生たちがどんどん親しくなるのを眩しい思いで見っていました。

ツアーの実施に当たっては、見えないところでも非常に多くの方々に関わり、尽力していただいていることに深く感謝しておりますが、なかでも、実務を担当された奇美グループのシャンファさん、張さんには、心からお礼の言葉を申し上げたいと思っています。

(財) 仙台国際交流協会 企画事業課長

佐藤 剛

真夏の台湾での1週間はとても濃く、本当にあっという間でした。

同じアジアにある飛行機で数時間という近い国ですが、独特な匂い、日本人にとっては強すぎるほどの日差し、みずみずしい果物、町のどこで出会っても温かい人々、似ているけれど違う日本のコンビニ、先住民の村での生活や現存する古く美しい町並みなどを目にし、異文化を肌で感じました。

海安路でのイベントに出展した仙台PRブースでは、七夕や浴衣などの日本文化を紹介し、言葉が通じずとも市民の方々と直接触れ合うことができました。一人ひとりが台南のみなさんに感謝を伝えられた、貴重な時間だったのではないのでしょうか。特設ステージでの発表も、中国語の感謝のメッセージと日本の歌で盛り上げ、大成功に終わりましたね。準備の段階では不安が大きかったと思いますが、当日のみなさんの結束力には、本当に目を見張るものがありました。

私たちのために日本語で一生懸命通訳をし、市内を案内してくれた台南サポーターには感謝してもしきれません。毎日朝早くから夜遅くまで、盛りだくさんのスケジュールの中、私たちのために費やした労力は並大抵ではなかったと思います。1週間全力で私たちをサポートしてくださり、本当にありがとうございました。

第3回目のツアーは終了しましたが、このツアーは今後も続いていきます。今回参加した30名のみなさんには、ツアーを通して出会った方々との絆を大切に、それを次のツアーへ繋ぐ役割を担ってほしいと思います。

最後に、第3回目のツアーを無事大成功に終える事ができたのは、このツアーに携わってくださったみなさまのおかげです。実施にあたりご協力いただいたすべての方々に、心から感謝申し上げます。

(財) 仙台国際交流協会 企画事業課企画係

赤坂 恵利加

編集後記



ようやく2回目の大学生向け台南ツアー報告書を完成にこぎつけることができました。この報告書を通して、仙台の若者たちが台南で過ごした素晴らしい日々を、皆さまに少しでも知っていただくことができれば幸いです。打ち合わせの少ない中で、ばたばたと進めてしまった感も否めませんが、そんな中、一緒に報告書作りに携わってくれた報告書チーム、報告書チーム以外のみんな、台南サポーターのみなさま、SIRAのみなさまに改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。（東北大学4年 関美菜子）



報告書作りはツアーから帰ってきてから仕事が始まるので、日本に帰国してからが大変でした。今回は事後研修が1回しかなかったので、報告書チーム全員が集まる時間がない中で報告書を作らなければいけませんでした。けれども、このツアーの参加者、1人1人が納得できるような報告書が完成してとても満足しています！この報告書を作ることで、仙台の人たちが台南について少しでも興味を持てただけなら嬉しいです。この報告書を読むことで、台南から多大な支援があったことを忘れないようにしてほしいです。（宮城学院女子大学4年 菊池さおり）



第1回訪問団の方からのアドバイスにより、スムーズに報告書を作成することが出来ました。私はフォトスナップの担当だったので、ツアー中は皆の写真を撮ることに専念し、その数は1200枚にも及びました！編集中は、8日間を振り返りながら、思い出に浸りながらの作業だったのでなかなか進みませんでしたが、今回のツアーらしい、元気に溢れた雰囲気を与えられたら幸いです。フォトスナップには、皆が撮影してくれた写真もたくさん使用しました。協力してくださった皆さん、ありがとうございます！この報告書も皆の宝物になると嬉しいです！（東北大学2年 矢吹有唯）



私たちの濃い一週間を伝えることが出来るような盛りだくさんの報告書が出来ました！私は、台南サポーターからのメッセージページを担当し、「送愛到仙台」という言葉どおり、仙台市や私たちに対する温かいメッセージを頂くことができました。この報告書を通じて、台南市の人々からの支援と感謝の気持ちを忘れず、これからも仙台と台南の交流が続き、更に発展していくことを願います。報告書作りは大変でしたが、この一週間の記録をこのような形にまとめる事ができて良かったです。ご協力ありがとうございました。（宮城学院女子大学2年 作間温子）



編集にあたり、皆から送られてくる文章、写真を見返しました。まだプログラムは続いている気がして、早く皆に会いたいなあ、と思わずにはいられませんでした。たった一秒過ぎてしまう事がとても惜しく、あんなに濃い時間を過ごしたことが信じられません。沢山の方が、この交流を良きものにしようと尽力して下さったことに心から感謝致します。このことが私たちに一生の思い出と繋がりを与えてくれました。我愛台南、謝謝！（東北学院大学3年 亀山千晃）

第3回台南市青少年訪問団Tシャツデザイン 仙台白百合女子大学4年 菊池麻子



「送愛到仙台」という名の通り、私たちは台南の皆さまから様々な形でたくさんの「愛」を頂きました。そして第3回訪問団の私たちもまた、事前研修の段階から「この溢れる感謝の想いをどうやって台南の方々に伝えよう？」と考えてきました。台南市と仙台市を繋ぐ6つのハート（♡）は遠く離れていても同じ思いを共有していることを表し、「言葉がわからなくても、見るだけで意思が伝わる」をコンセプトにデザインしました。



送愛到仙台



第3回台南市青少年訪問団 報告書

編集・発行 財団法人仙台国際交流協会

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内

TEL: 022-265-2480 FAX: 022-265-2485

E-mail: plan2@sira.or.jp HP: <http://www.sira.or.jp>